

大分東部地域 まちづくりビジョン



大分東部地域ビジョン会議

平成30年7月

— 目次 —

はじめに	1
第1章 地域の特性	
1 地理的特性	2
2 地域の歩み、歴史・文化的特性	2～4
第2章 地域の現状及び市の施策	
1 土地利用の状況	5～6
2 住民交流	7～8
3 地域内の公共施設	9
4 指定避難所	10
5 市民との協働によるまちづくりの取組	11～12
第3章 人口推移と将来推計	
1 大分市の人口推移と将来推計	13
2 大分東部地域の人口推移と将来推計	14
第4章 地域の分析	
1 私たちの住む地域について	15～17
2 SWOT分析による大分東部地域の整理図(地図)	18
第5章 地域のあるべき姿(将来像)	
1 地域の将来に向けた魅力・課題	19
2 大分東部地域の将来像(コンセプト)	20
第6章 将来像の実現に向けた取組	
1 これからのまちづくりに向けた市長への提言	21
2 提言に基づく提案事業の一覧	22～23
3 提案事業の役割分担	24～27
4 提案事業の整理図(地図)	27
<hr/>	
資料編	
1 策定経過	29
2 大分東部地域ビジョン会議委員、顧問及び事務局名簿	30～31
3 大分市地域ビジョン会議設置要綱	32～34

はじめに

わが国では、急速に少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎える中、大分市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域の活力維持や地域コミュニティの希薄化など、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題解決のためには、行政が地域の実情や意向等を的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的に、市内13地域において、各地域の代表者等で構成する「地域ビジョン会議」を設置し、それぞれの地域の現状と課題などを議論し、市民主体のまちづくりを進めるうえで目指すべき将来像である「地域まちづくりビジョン」を策定しました。

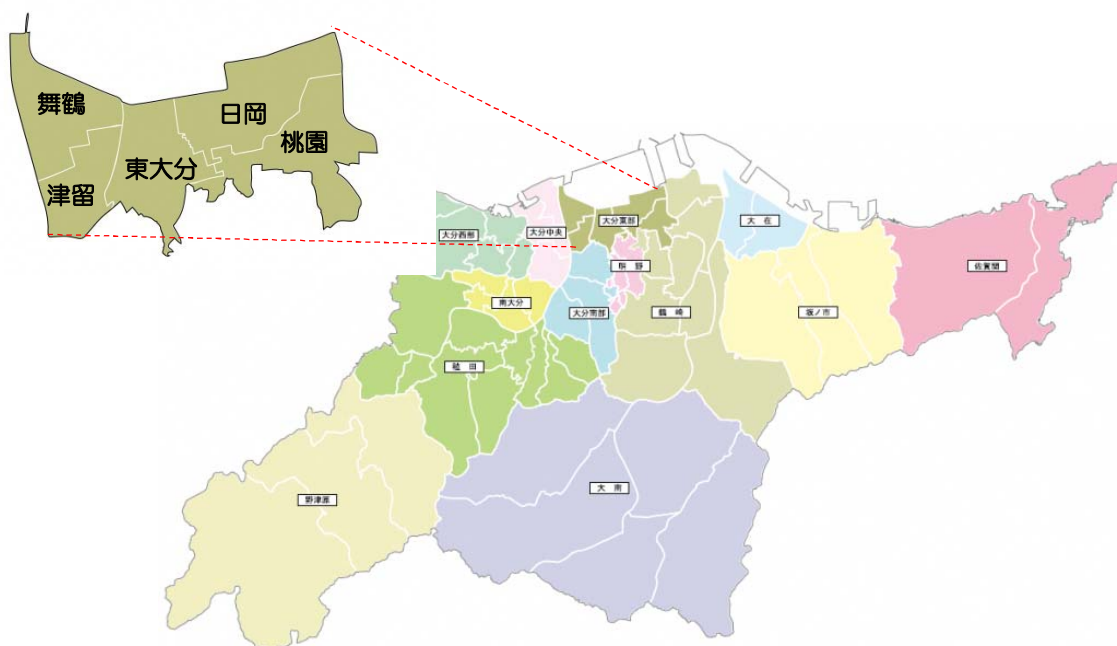
本ビジョンでは、大分東部地域ビジョン会議で取りまとめました「大分東部地域まちづくりビジョン」について、大分市長に提言します。

市内13地域における地域ビジョン会議

大分中央地域	大分東部地域	大分西部地域
大分南部地域	南大分地域	鶴崎地域
大南地域	植田地域	大在地域
坂ノ市地域	佐賀関地域	野津原地域
明野地域		

大分東部地域の対象校区

大分東部地域まちづくりビジョンは、津留地区（津留校区・舞鶴校区）、東大分校区、日岡校区、桃園校区を対象としています。



第1章 地域の特徴

1 地理的特性

大分東部地域は、大分市の北部に位置しています。

地域の北側には、新日鐵住金(株)大分製鉄所が立地しており、東に乙津川、西に大分川が流れています。

また、地域内には、北から県道 22 号大在大分港線（通称「40m 道路」）、国道 197 号、JR 日豊本線が東西に並行して整備されており、大分市中心部と鶴崎・大在地区の中間に位置し、公共交通機関が多く通勤・通学をはじめ生活に便利な地域です。

2 地域の歩み、歴史・文化的特性

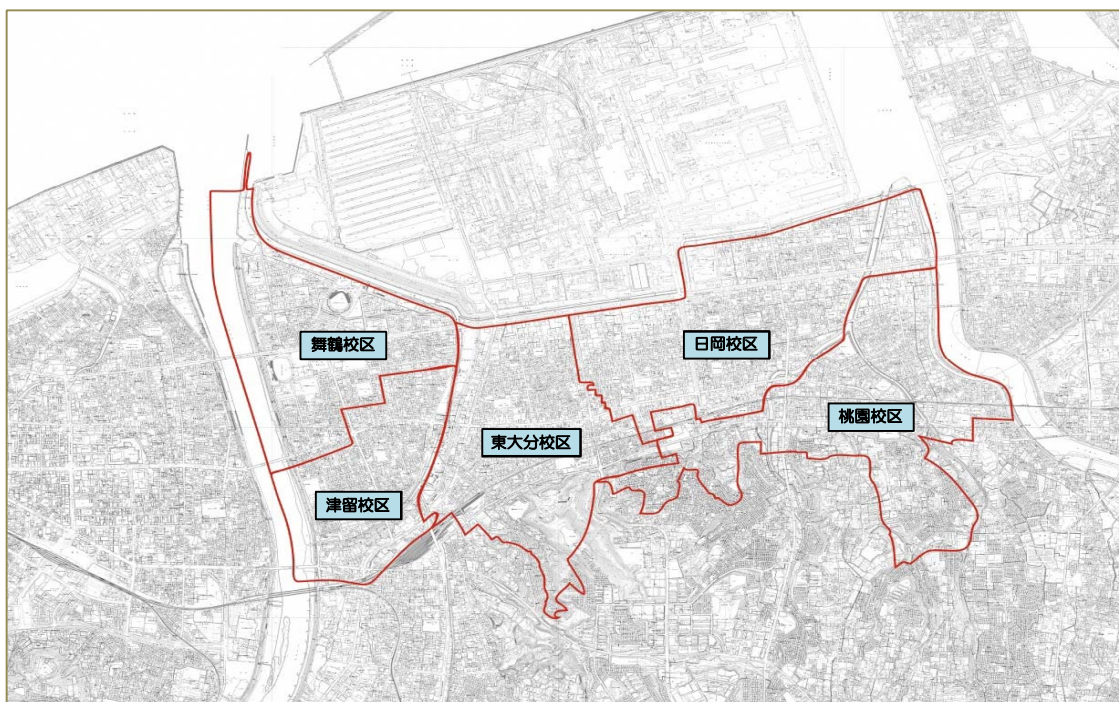
(1) 地区の歩み

大分東部地域は小藩分立により、府内藩や延岡藩、天領など多くの藩に分割し統治されてきた経過があります。

北側の別府湾に面した地区では、昔は製塩業などが盛んでしたが、近年新産業都市の指定により、新日鐵住金(株)などの大規模な工場が立地され、区画整理事業などを経て、現在では工業地や住宅地が形成されています。

地域内には、平和市民公園などの大規模な公園が数多く設置されているほか、小・中学校や公私立の高校など、多くの学校が立地しています。

図一 大分東部地域位置図

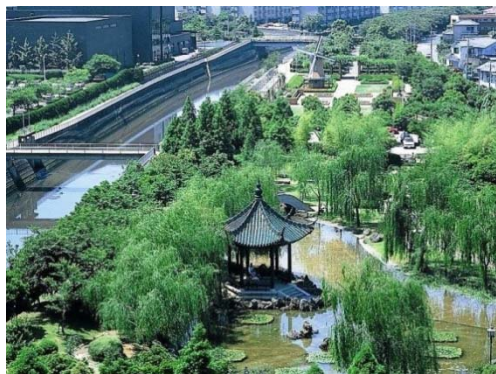


(2) 文化的特性

[津留地区（津留校区・舞鶴校区）]

■大分市平和市民公園

昭和54年に建設された市民の文化教養、散策、スポーツ等の多様なニーズに対応した総合公園です。園内には友好姉妹都市締結を記念した国際交流広場（武漢の森）や多目的広場が整備されており、公園南側にある能楽堂では、能楽、日本舞踊、民謡、茶道等で多くの市民に利用されています。また、裏川に沿って800本以上の桜が植栽され、多くの市民の憩いの場として利用されています。



写真（左：武漢の森 右：裏川沿いの桜）

[東大分校区]

■萩原天満宮

東大分小学校の北約300mの位置に鎮座する神社で、境内には天神社、住吉社、和霊社の3社の社殿が並び建っています。境内がとても広く、西側半分が文久3年（1863年）に萩原の茶人月花坊探玄が造営、東側は大正の始めに当時の区長が村内の庭木の寄進により造営されたといわれています。

毎年8月に行われる夏季大祭では神輿の巡行のほか、歌舞伎人形等で飾られた10基以上の山車が萩原の各町から出て町内をにぎやかに練り歩きます。



[日岡校区]

■鷹松神社

建久2年（1191年）、比叡山麓の日吉神社の分霊を勧請して創建されました。天保2年（1842年）に社殿が建立されています。当時は日吉神社と呼ばれていましたが、明治10年に現在の鷹松神社に改称しました。

境内の鎮守の森は大分県の特別保護樹林に指定されているほか、社殿奥にそびえるモチノキは神社創建当時に御神木として植えられたものと伝わっており昭和50年に大分市の名木（指定43号）に指定されています。



写真(鷹松神社のモチノキ)

[桃園校区]

■延岡藩千歳役所跡

千歳天満社より西南側の台地の、千歳より小池原に通じる市道沿いにあり、往時は約5,000平方メートルの敷地がありました。正徳5年（1715年）に日向国延岡藩によって築かれたとされ、1712年に豊後の国の大分郡、速見郡、国東郡の内、83村2万6百石が日向延岡藩領となった際に、この3郡を統括するための代官所として置かれていました。

現在、特に遺構は残っておらず、「延岡藩千歳役所跡」と記された石碑が建っています。

■白鳥神社

祭神は日本武尊で、その昔、景行天皇が九州巡幸の際、立ち寄られた跡を記念として一丈四方の土塁と溝を築造し、聖地としたことが始まりで、のちに境内に竜王宮とその他祭神6社が祭られています。白鳥神社の由緒記によると、日本武尊は、蝦夷征伐から帰還の途中、伊勢で崩御され、神剣を熱田神宮に奉られました。その御神霊が白鳥になったと言われ、このことを知った人々は悼み悲しみ、光仁天皇の宝亀2年にこの地に小祠を創建したと伝えられています。

千歳役所跡



白鳥神社



第2章 地域の現状及び市の施策

1 土地利用の状況

大分東部地域のほぼ全域が都市計画区域となっています。また、地域内の大部分が、区画整理事業によって整備されており、公園をはじめ多くの施設が設置されています。

本地域には平和市民公園をはじめ広さ1ha以上の都市公園が10箇所、それ以外の公園も数多く整備されており、緑が豊かな地域であるといえます。また、海岸部は、臨海工業地帯として埋め立てられ、新日鐵住金(株)の大分製鐵所が立地し、その周辺にも関連企業の事業所など、多くの企業が立地しています。



◇土地区画整理事業の概要

①津留土地区画整理事業（昭和38年度～平成7年度）

臨海工業地帯の埋立事業が進むなか、後背地一帯の急速な発展に備えるために都市計画道路や区画街路・水路等とともに、大洲総合運動公園や津留運動公園をはじめとした公園・緑地等の整備も行われたことで良好な市街地が形成されました。

②大分臨海工業地帯 原川土地区画整理事業（昭和37年度～平成12年度）

北部の工業地帯と住宅地帯を分離する臨海産業道路の新設や、国道197号の拡幅及び地区中央部を東西及び南北に走る幹線道路の整備とともに、各用途地域に応じた区画街路を整備し統制のある新市街地を整備したことで、隣接する萩原地区と一体となった街並みが形成されました。

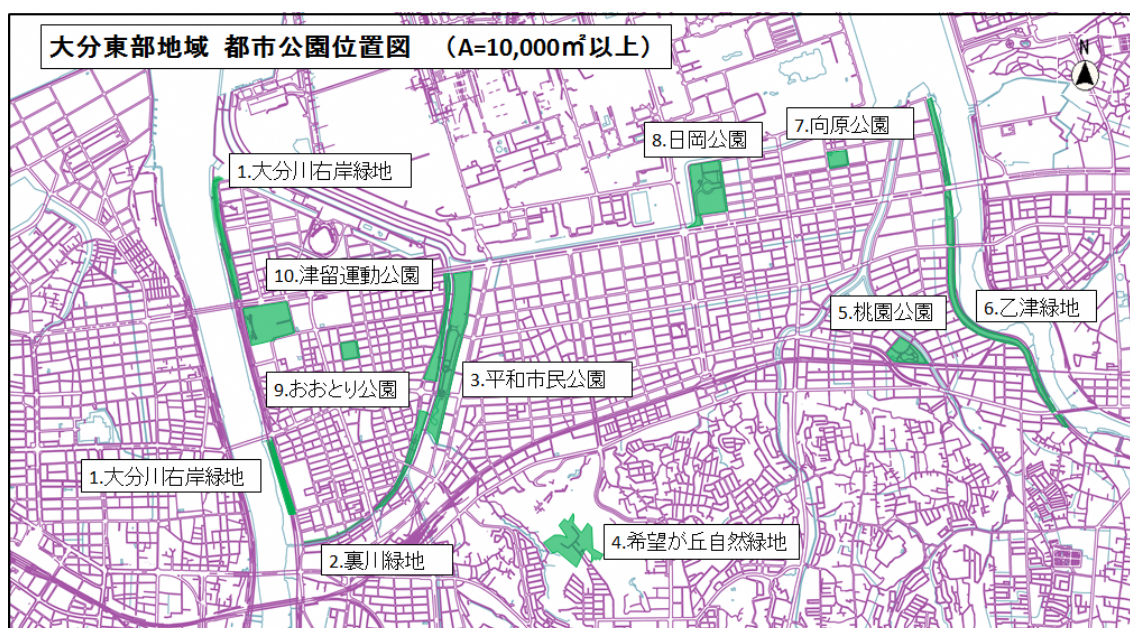
③大分臨海工業地帯 萩原土地区画整理事業（昭和43年度～平成12年度）

北部の工業専用地帯を分離する萩原都市下水路を東西に設け、これに沿って臨海産業道路を新設するとともに国道197号を拡幅しました。また、両道路間にも都市計画道路網を新設し、緑地・鉄道・学校等の公共用地を確保することで、統制ある新市街地を整備しました。

◇公園の整備状況

番号	小学校区	公園名	面積	開園年月日
1	津留・舞鶴	大分川右岸緑地	14,586	S59.3.31
2	津留	裏川緑地	10,153	S61.3.31
3	東大分	平和市民公園	99,588	S56.4.1
4	東大分	希望が丘自然緑地	14,362	H15.3.31
5	桃園	桃園公園	25,015	S48.3.31
6	桃園	乙津緑地	34,833	S48.3.31
7	日岡	向原公園	12,331	S48.3.31
8	日岡	日岡公園	68,870	S49.4.1
9	舞鶴	おおとり公園	10,126	S43.3.31
10	舞鶴	津留運動公園	66,358	S26.4.1

都市公園一覧表 (A=10,000m²以上)



2 住民交流

地域と企業が連携した取組

■城東・原川地区体育文化推進協議会

この協議会は、城東・原川地区住民が体育・文化福祉の諸活動を通じて親睦と交流を図り、住みよい地域社会を築いていくために昭和51年12月に設立されました。地域・企業が互いに連携し、「城東春まつり」や「各種体育行事」などを開催しています。

「城東春まつり」

毎年4月、日岡公園を会場に地域住民と地元企業が一体となって開催しており、多くの人出でにぎわいます。



「少年少女ドッジボール大会」

小学生による、ドッジボール大会は白熱した試合が展開されます。



「女子ミニバレーボール大会」「成人ソフトボール大会」

各地区の予選を勝ち抜いた、代表チームによる大会は校区を超えた交流の場となっています。



■新日鐵住金株式会社 大分製鐵所

東部地域には日本を代表する新日鐵住金(株)大分製鐵所が立地しています。同製鐵所は国内第2位、新日鐵住金(株)では最大の製鐵所で、世界最大級のツイン高炉をはじめとした最新鋭の設備により、高級鋼を中心に年間約1,000万トンの鉄を生産しています。製品は、国内はもとより世界各地に輸出され、自動車や船舶、建材や橋梁など幅広く利用されています。



新日鐵住金(株)大分製鐵所

～地域に根差した活動～

近隣小学校において子どもたちに科学の心を養う目的で「出張授業」の開催や、運動部による「スポーツ教室」、「地域清掃活動」など地域とともに歩む社会貢献企業としての活動に取り組んでいます。



出張授業



出張授業



スポーツ教室



清掃活動「クリーンアップ大分」

4 指定避難所

地域内の日豊本線北側のエリアは海拔が低く、津波発生時には浸水被害の発生が想定されることから、地域内には多くの津波避難ビルが指定されているほか、同地域には指定避難所が8箇所設置されています。また、平和市民公園には、震災時の拠点として防災倉庫が設置され、飲料水等の確保が図られています。



表一地区の避難所一覧

校区	施設名	避難可能人員 (人)	
		一時	避難所
津留	①津留小学校	946	473
舞鶴	②舞鶴小学校	886	443
東大分	③東大分小学校	886	443
東大分	④城東中学校	1,476	738
日岡	⑤日岡小学校	1,215	607
日岡	⑥大分東部公民館	1,583	791
桃園	⑦桃園小学校	886	443
桃園	⑧原川中学校	980	490

5 市民との協働によるまちづくりの取組

(1) 地域まちづくり活性化事業

地域課題解決のための事業を地域住民が主体的に考え、市民と行政が協働で取り組み、地域活性化の新たな魅力創出につなげることを目的とした事業です。

大分東部地域 テーマ：城東原川多世代交流 楽市（平成 30 年度）

全体事業

① 城東原川まちづくりフォーラム

城東原川地域住民のより広い層へまちづくりへの理解、交流を深めるため講師を招いての講演会、事例発表などを行います。

② 城東原川絆プロジェクト

地域住民の絆再生、交流の活性化を図るための広報・啓発活動を行います。

③ 城東原川まちづくり交流会

各校区の地域住民同士で、地域課題を共有し、連携協力していく環境づくりのための交流会を開催します。

各校区独自事業

津留地区：①津留地区水とみどりと歴史のまちづくり事業

裏川の清掃活動をはじめ、大分川河川敷の花植え、地域民謡「甚吉物語」の普及等により多世代交流を深めます。

②津留地区3世代ふれあい健康づくり事業

健康ウォーキングを実施し、地域住民の交流と健康づくりを進めます。

日岡校区：①歴史探索ウォーキング事業

日岡校区の歴史を知ってもらうウォーキングを通して、多世代交流による地域の絆を深めます。

②日岡ポップグリーン事業

日岡校区において花や緑を愛し、季節感あふれる彩りのある地域づくりを広めます。

③日岡こども応援団事業

「笑顔が集う日岡の放課後」をテーマに、こどもの居場所をつくるための、「日岡こども広場」が小学校の空き教室を利用して様々な活動を行います。

桃園校区：①桃園みどりとせせらぎの里づくり（ふれあいウォークラリー大会）

子どもから高齢者まで、史跡マップを使って参加するウォークラリー大会を通して、郷土の史跡や自然に親しむとともに地域の絆を深めます。

②桃園花いっぱい事業

自治会ごとに花いっぱい活動を通して地域住民が交流を深める地域づくりを広めます。



[津留地区]大分川/裏川河川清掃



[日岡校区]日岡歴史探索ウォーキング

(2) 地域づくり交付金事業

地域に一定の権限、財源を付与することにより、地域に係る課題を地域自らが主体的に解決できるようにする「地域づくり交付金事業」は、本地域では東大分校区が平成27年度から導入しており、地域内の団体や住民など多様な主体による意見・知恵をもとに地域の特性を生かした地域・まちづくりが進められています。

東大分校区まちづくり協議会

構成団体：東大分校区自治委員連絡協議会、東大分校区公民館、東大分体育協会
東大分校区社会福祉協議会、東大分校区青少年健全育成協議会
東大分民生・児童委員協議会、交通安全協会東大分分会、大分市消防団
東大分分団・東大分校区老人会連合会、NPO 法人わいわい夢クラブ

実施事業：ご近所の底力再生事業、公民館運営事業、ふれあい農園&収穫祭事業

花いっぱい事業、防災士協議会事業
公園愛護会グループ事業、観月祭共催事業
老人会・子育て支援事業
スポーツ活動推進事業
ふれあいウォーキング事業
交通事故をなくす事業
城東原川地区防犯対策事業
広報事業、公民館運営事業 等

東大分校区防災ウォーキング



(3) ご近所の底力再生事業

誰もが安全・安心で快適に暮らせる地域づくりを目指し、地域の課題は地域住民の手で解決していこうという気運を高めていくため、自治会や町内会を対象に、地域のみなさんが自主的・積極的に取り組む地域の課題解決やふれあいの場づくりの事業に対して、自治会の世帯数に応じて助成金が交付されており、多くの事業が町内行事として定着しています。

●助成対象になる事業・取組

事業名	取組み
地域の安全を守る事業	<ul style="list-style-type: none"> 防犯、見守りパトロール 防災訓練、炊き出し訓練
青少年の健全育成に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 自治会主催のこども工作教室 子ども音楽クラブ活動
地域福祉の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者とのふれあい交流会
世代間の交流促進に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 3世代交流餅つき大会 3世代交流グラウンドゴルフ
地域の環境美化又は保全に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 地区内環境整備事業 花いっぱい運動
地域の活力の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化自治会まつり

3世代餅つき大会の様子



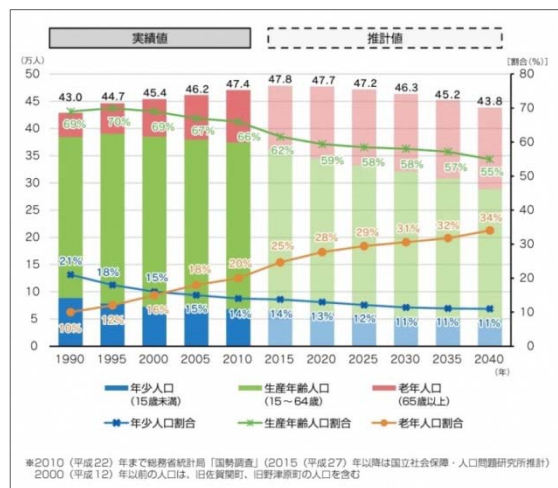
第3章 人口推移と将来推計

1 大分市の人口推移と将来推計

(1) 総人口・年齢3区分別人口の推計

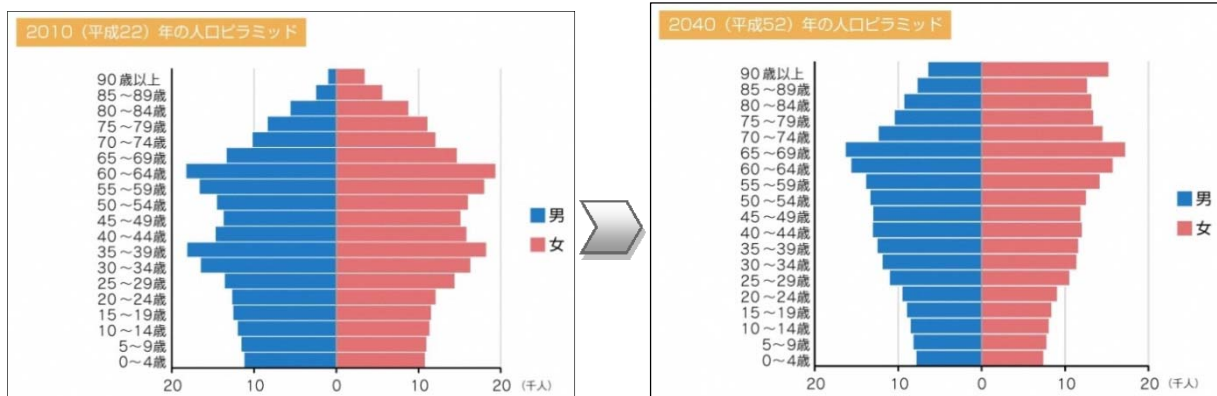
2010（平成22）年国勢調査を基本に、2013（平成25）年3月発表の社人研の数値を用い、将来人口を推計しています。

また、社人研の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2010（平成22）年から2040（平成52）年までの30年間で、本市の総人口は約3.6万人、生産年齢人口（15歳～64歳）は約6.5万人減少すると予測されています。一方、老年人口（65歳以上）は約5.3万人増加し、高齢化率は34%に達すると予測されています。



(2) 人口ピラミッドの推移

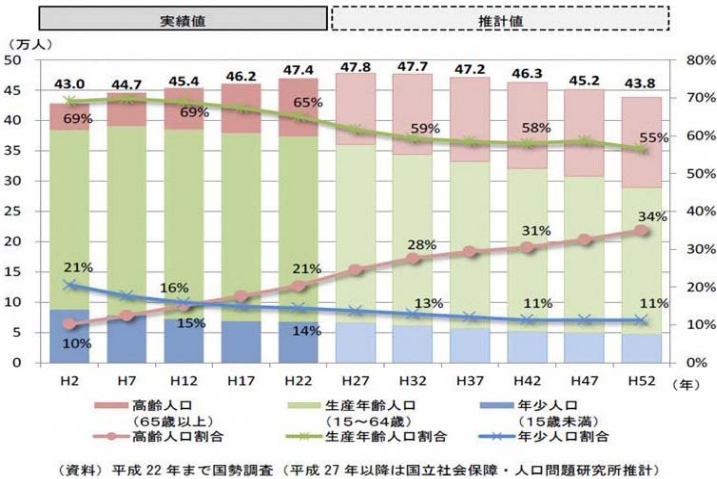
本市の総人口の減少や少子高齢化の進展に伴い、年少人口（15歳未満）を含む若い世代の人口が減少し、本市の人口ピラミッドは、「壺型」に向かっていくものと考えられます。



※2010（平成22）年の総人口は総務省統計局「国勢調査」
 ※2040（平成52）年の総人口は国立社会保障・人口問題研究所推計

2 大分東部地域の人口推移と将来推計

(1) 大分市の人口動向（人口推移）



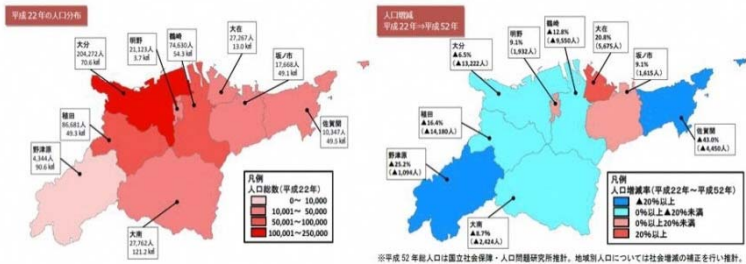
○本市の総人口は平成27年頃をピークに緩やかに減少に向かう見込みです。

○今後30年間で総人口は約3.6万人、生産年齢人口は約6.5万人減少。

○高齢人口は約5.3万人増加、人口割合は21%から34%へ13ポイント増加。

(2) 大分市の人口動向（地域の将来人口）

今後30年間(平成22年→平成52年)の地域別(支所管轄を基本とした9地区)人口推計

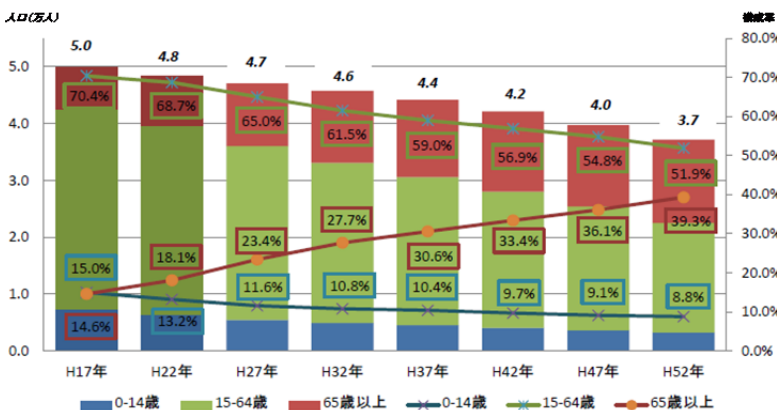


○本市の総人口の減少に伴い、市内全域において大きな人口増加は見込めない状況です。

○佐賀関地区(△4,450人△43.0%)、野津原地区(△1,094人△25.2%)においては、地域人口に対する減少率が特に大きくなっています。

○同じ市内でも地区ごとに年齢構成や人口動態が大きく異なっているため、課題の抽出や対策について、それぞれの地区ごとに検討する必要があります。

(3) 地域別の人口推移（大分東部地域）



○大分東部地域の人口は、市の総人口の約10.2%を占めています。30年後は人口が減少する見込みで減少率(約△23.2%)は本市全体(約△7.6%)より高くなっています。

○地域内の人口の構成が本庁管轄内の他の地域より高齢者の割合が高くなっており、今後急速に人口が減少していく見込みです。

第4章 地域の分析

1 私たちの住む地域について（SWOT分析（※））

大分東部地域ビジョン会議では、地域の特性を把握し、今後のまちづくりの方向性を導くための手法としてSWOT分析を行い、次のような結果が得られました。

◆SWOT分析とは・・・

SWOT分析は、地域特性を、地域の内部環境に関する事項なのか、外部環境に関する事項か、強み又は機会なのか、弱み又は脅威なのかを分類整理する方法です。

多岐にわたる意見を体系化するのに適しており、地域の持つ強みや弱み、その地域が置かれている環境などを掘り下げるのに有効なツールです。



【大分東部地域のSWOT分析(強み・機会)】※主なもの

強み Strength

- ①多くのイベントの開催により地域交流を促進
 - ・小学校と合同の運動会（地域）
 - ・津留体育祭が楽しい
 - ・萩原のまつり・イベント、祭り等
- ②地域住民同士の繋がりが強い
 - ・「津留は一つ」の合言葉が良い
 - ・地域の方たちとの交流が多い（萩原）
 - ・挨拶のかわせる街
 - ・地域住民の交流による信頼関係の充実が図られていると感じる
 - ・城東原川体文協やわいわい夢くらぶなど地域住民の交流を促進する組織がある
 - ・城東春まつりなど
- ③緑地や公園施設に恵まれている
 - ・健康づくりの活動に日岡公園が活用されている
 - ・南部台地斜面の緑が美しいので、これを生かす取組を検討してはどうか
- ④新日鐵住金(株)大分製鐵所の立地
 - ・新日鐵の夜景がきれい
 - ・地元の新日鐵住金(株)がある
- ⑤公共交通や教育施設にみられる立地条件の良さ
 - ・駅が2つ有りバス停も多く交通の利便性が良い
 - ・城東原川地域は国道197号線もあり、バスの利便性が高く通勤に便利。高校や中学も近接しておりとても便利だと思う
- ⑥元気な子どもの姿
 - ・子どもの心の豊かさ、元気な子どもたちの姿が大切に感じる

機 会 Opportunity

①子どもや高齢者にとって住み心地のよいまちづくり

- ・高齢者と子どもと一緒にウォーキングをする
- ・子どもを産みやすく、子ども、高齢者共に住みよいまちづくり。世代間交流を盛んに
- ・高齢者とのふれあい
- ・高齢者への理解、子どもと交流を通じて親との絆を深めて共に子育てをする
- ・高齢者が安心して乗れる乗り物を考える→作る
- ・高齢者（比較的若い）の知識や技術を地域に還元してもらうため、オールドパワーバンクを作っているかどうか
- ・放課後の児童の居場所づくり（カギっ子が多い）子ども食堂等の取組が必要
- ・子どもが安全に遊べる公園、広場づくり（道路が近いとボールなどが出してしまう）

②社会環境や施策、制度等における地域コミュニティの充実

- ・地域の連帯感を高める事業やイベントの展開
- ・高齢者サロンが元気に活動できるよう支援してほしい
- ・大分東部地域ジュニアビジョン会議を開催する
- ・城東原川体育文化推進協議会活動の充実、ドッジボールやミニバレー大会など引き続き地域の絆を深めていってほしい
- ・大分東部ソングをつくってみたらどうか
- ・地域にある高校（5校）と地域の交流を進めたい
- ・萩原に住んでいるが、子どもがいない世帯や一人世帯の住民とどう付き合っていくかが課題。地域のお祭りなどのイベントに入っていくやすいようなまちをつくる必要がある
- ・10年前に引っ越しして来た時、近所のお年寄りに助けてもらい非常に温かく感じた。もっと高齢者とふれあえる場づくりに取り組む必要がある
- ・親と子、親と親、親と学校の3つのつながりを年齢関係なく、校区を越えてつながるビジョンを作りたい
- ・地域の文化や教育が少なくなっているように感じているので、子どもや若者や老人が教育や文化にふれあえるような地域になってほしい（顧問）
- ・校区公民館では3世代交流で子育てに取り組んでいるが、60～70代の団塊世代の人材が不足している。市役所の退職者などはできるだけ自治会など地域活動に入ってほしい
- ・人口減少から地域事業の継続が不可能になりつつある。新しく入って来る方との融合をどうするか

③地域の衛生向上

- ・ごみ捨ての日厳守についてもっと周知を図ってほしい

④公共交通の利便性強化

- ・交通体系 JRの利用をもっと便利にしてほしい

⑤地元企業との共生

- ・新日鐵住金にちなんで鉄のアート作品を公募、裏川河畔にアート作品を展示する
- ・新日鐵住金（緑地帯）の育成・整備
- ・地元企業から、地域住民が利用できるコミュニケーションホールを無料で提供してもらっており、交通安全活動なども行っているので今後も安心である
- ・地元企業としても、安全で住みやすい地域づくりに協力していきたいと思っている

⑥スポーツの振興や学力アップ等における子どもの能力向上

- ・子どもの学力向上の工夫、無償で学べる取組
- ・人の気持ちが解る子どもの育成に取り組む
- ・スポーツ活動など素晴らしい点もあり、子どもには純粋な心を持って小中学校を過ごしてもらいたい
- ・今後、人口が減り子どもの数も減少する中、教育に力を入れ子どもの学力を伸ばしていく必要がある
- ・スポーツを通じた多世代交流 少年野球、ソフトボール、バレーボール、サッカー他
- ・原川中ではスポーツ活動強化に地域も協力しながら取り組んでいる

⑦各種災害に備える防災対策の推進

- ・津波や災害の発生時に迅速な避難ができるよう、お年寄りや子ども、体の不自由な方への対応を検討する必要がある。（特に海が近い地域）地域でプランを立てて防災訓練をした方がよい
- ・津波の場合の避難場所の確保
- ・大分東部地域で防災活動の共有化を図ってどうか
- ・避難体験・消防団の人材の確保・防災サミットを開く
- ・サバイバル体験・丘地の広い地域の洪水・津波対策

⑧雇用促進

- ・地元雇用先をつくりたい
- ・雇用を促進する取組

⑨商業地の活性化の推進

- ・シャッター商店街をなくしたい
- ・大売り出しのにぎわいを取り戻したい
- ・大きな商業施設がほしい

⑩交通安全対策の推進

- ・通学時間帯の通行制限・交通安全活動
- ・地域と企業の協働・道路標識をもっとわかりやすく

⑪公園整備の充実

- ・日岡公園の整備

【大分東部地域のSWOT分析(弱み・脅威)】※主なもの

弱み Weakness

①公園の管理不足や利用する子どもの減少

- ・公園の維持管理、樹木の管理が近年悪くなった
- ・公園での子どもの遊びの管理がなされていない
- ・大分東部地域には大規模な公園が多くありいいことだと思うが、樹木が生い茂り内部の見通しが悪くて治安面で不安を感じる公園もある。木を切るなど周囲から見えるようにしてほしい(日岡・桃園公園)

②子どもの通学路問題

- ・スクールゾーンがない(日岡校区)ので、整備が必要
- ・197号線沿いの学校に近いところは車が多い
- ・桃園(千歳)など、通学路の幅がせまく危険な箇所がある。補導員が横断歩道で止めると運転者に怒られる
- ・津留・舞鶴小学校付近の歩道にはグリーンゾーンが少ない

③危険な交通状況

- ・大きな通りの交通量が多くて危険
- ・千歳地区の道が暗くて危険(樹木が生い茂っている)

④新日鐵の粉塵問題

- ・新日鐵の粉塵公害問題
- ・新日鐵の公害調査方法を考え直す必要がある

⑤子育て世代への支援の欠如

- ・親が帰ってくるまで安心して子どもが過ごすことができる場所がない
- ・保育施設の不足

⑥高齢者の引きこもり、参加者不足、地域間交流不足等にみられる地域コミュニティの問題

- ・お年寄りとのコミュニケーション不足
- ・地域でお年寄りを対象にサロンを開いており、引きこもりのお年寄りにサロンに来てもらいたいが、なかなか来てもらえていない
- ・「匠の会」というボランティア団体を作り、ものづくり、人づくり、地域づくりをテーマに地区公民館単位で花や野菜づくりを子どもと一緒にやっているが、協力者が少なくして少人数では手に負えない。行政も、もっと目を向けてほしい
- ・地域の交流、世代間の交流が少ない
- ・地域のコミュニティが弱い地域もある

⑦高齢化の進行にみられる民生委員の課題

- ・避難行動要支援者対策について名簿が作成、配布されているが、理念だけで地域の実態がよく踏まえていないので、自治委員の間でも問題になっている
- ・民生委員の高齢化が進んでいて、平均で70歳を超えている。もっと若い人へのバトンタッチが必要

⑧正しい自転車の乗り方のマナーやルールの欠如

- ・小中学生の自転車の乗り方が危ない。大人も音楽を聴きながら自転車に乗るなど、正しい乗り方ができていない場合もあるので、大人から正しい乗り方を身につける必要がある

脅威 Threat

①自然災害の脅威

- ・防災に対する考え方、現状の訓練では役に立たない。津波や災害の発生時に迅速な避難ができるよう、お年寄りや子ども、体の不自由な方への対応を検討する必要がある。(特に海が近い地域)地域でプランを立てて防災訓練をした方がよい
- ・災害対策が空回りになっている気がする
- ・河川の氾濫が心配
- ・津波が心配

②子どもが安心して遊べる治安の欠如

- ・安心して子どもが外で遊べる街にしたい。今は少し不安あり

- ・治安など安心、安全の面では不安がある(特に不審者情報が多い)、不審者対策として親同士の情報共有(地域、学校、警察)や見守りを行う体制づくりが大事

③環境の悪化

- ・排気ガスなどにより、空気が悪い
- ・乙津川から鳥が消えた。自然を大切に

④空き家問題

- ・空き家が多くなった

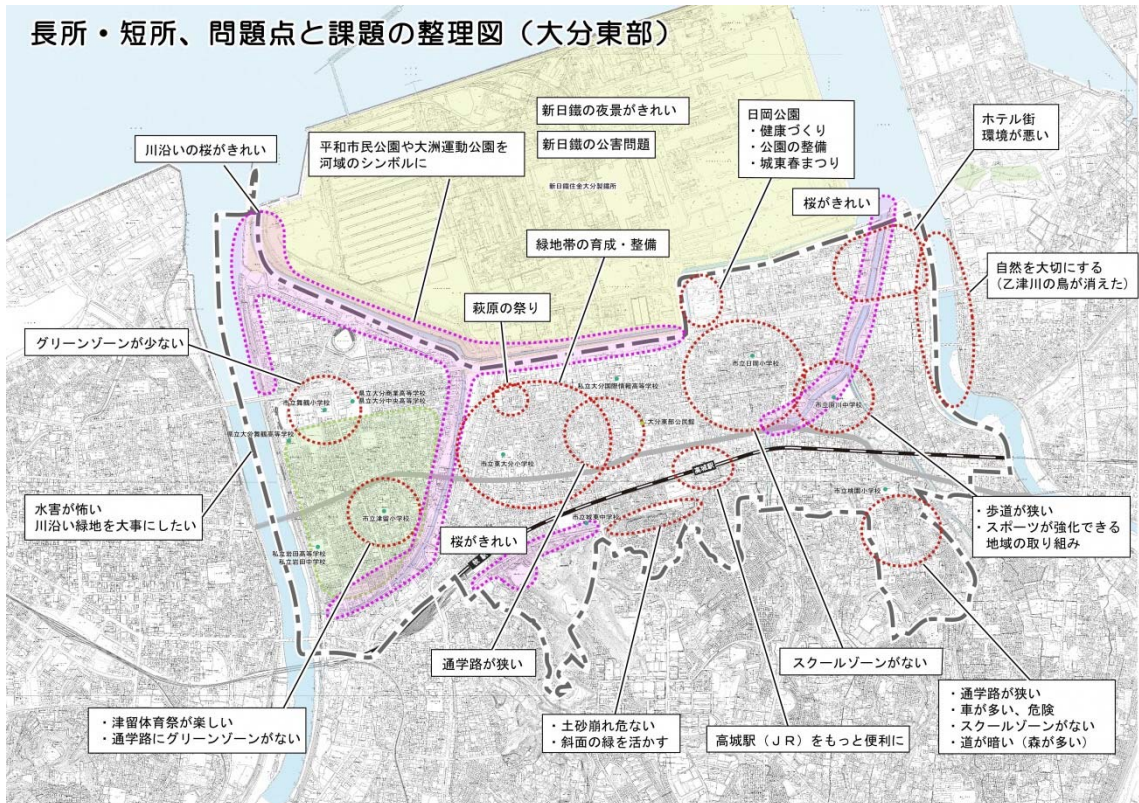
⑤ごみ問題

- ・ごみ問題 現状のままでは行き詰まる、長期的な改革が必要

2 SWOT分析による大分東部地域の整理図（地図）

委員から出された、地域の魅力や課題などの意見について、大分東部地域の地図で位置関係を整理すると以下のとおりになります。

地域ビジョン会議では、これらの意見を基に、次章以降の将来像の整理や将来像実現に向けた具体的な取組などについて、議論・検討を行いました。



第5章 地域のあるべき姿(将来像)

第4章の「地域の分析」により、大分東部地域の将来に向けた魅力や課題の整理を行いました。今後、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿(将来像)を設定し、魅力の向上や課題解決に向けた取組を検討していきます。

1 地域の将来に向けた魅力・課題

大分東部地域が誇る魅力

1. 緑が多く公園施設に恵まれている

平和市民公園や日岡公園をはじめ規模の大きい都市公園が数多くある緑豊かな地域で、健康づくりなど市民の憩いの場となっています。

2. 公共交通が整備された快適な住環境

牧駅、高城駅とJRの駅が2箇所あるのに加え、バス路線が非常に充実しているので通勤・通学や、買い物などに非常に便利です。

3. 地元企業との共生

日本を代表する新日鐵住金(株)大分製鐵所があり、子どもたちへの「出張授業」や「地域清掃活動」など地域に根差した活動を行っており、地域とともに安全で住みやすい地域づくりに取り組んでいます。

大分東部地域が抱える課題

1. 各種災害に対する防災対策

津波等の災害が発生した際は浸水が想定されるので、子どもやお年寄りが迅速に避難できるよう防災対策の検討が必要です。

2. 地域コミュニティの希薄化

大分東部地域は、今後、少子高齢化や急速な人口減少が予測されています。また、高齢者の引きこもりや地域間交流の不足などにより、地域コミュニティの希薄化が懸念されています。

2 大分東部地域の将来像（コンセプト）

今後、少子高齢化がさらに進行し、本市の人口も減少に転じることが予想される中、福祉など市民の身近な施策の充実や地域コミュニティの活性化、効率的な行政運営など諸課題への対応が求められています。

このような中、「大分東部地域ビジョン会議」において、地域の魅力の向上や課題解決に向けた取組を検討し、地域のさらなる発展のために、地域のあるべき姿（将来像）を以下のとおり決定しました。

緑豊かな東部地区 子どもに高齢者にやさしいまちづくり

将来像への思い

大分東部地域は平和市民公園をはじめ大規模な公園が多く、緑豊かな生活環境が整っています。そんな魅力ある地域資源を活かし、地域のみんなで交流し、支えあう子どもや高齢者にやさしく住み心地の良いまちづくりを目指していきたいという思いで将来像を設定しました。



第6章 将来像の実現に向けた取組

1 これからのまちづくりに向けた市長への提言

これまで、地域まちづくりビジョンの策定に向けて、改めて自らの住む地域を見直すとともに、今後、地域と行政が一緒になってどのような取組を進めていくべきか議論を深めてきました。

今後、わたしたち市民が描く地域の将来像の実現のため、これからのまちづくりに向けて、次のとおり市長に提言します。

提言1：安全・安心に暮らせるまちづくり

大分東部地区は、津波等の災害が発生した際は浸水が想定されています。災害が発生した際に、子どもや高齢者、体の不自由な方が迅速に避難できるよう体制の強化に取り組むほか、通学路にも危険な箇所も多いことから交通安全対策に取り組むなど安全・安心に暮らせるまちづくりの推進を望みます。

提言2：地域コミュニティの活性化の促進

地域間交流の不足や高齢者の引きこもりなどにより、地域コミュニティの希薄化が問題になっています。イベントなどを通じてより多くの人に地域活動への積極的な参加を促すことをはじめ、お年寄りや地域の子どもの3世代がみんなで集まりふれあえるような場の提供や、拠点となる公民館の機能の強化を図るなど、地域コミュニティの活性化を図るための支援を望みます。

提言3：地域で子育てがしやすい環境の整備

共働きの世帯が多いことから放課後子どもがひとりになることも多く、放課後の児童の居場所づくりや、子どもの教育環境の整備を図るなど、地域みんなで子育てをする取組に対しての支援を望みます。

2 提言に基づく提案事業の一覧

将来像の実現に向けて、前段で3つの項目について提言しました。また、その提言に基づく具体的な提案事業についても検討を行い、下記のとおりまとめました。

提言	事業名	内容
提言1	①避難行動要支援者対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者対策について、名簿だけでなく地域住民も協力しながら、防災訓練等を実施する中で周知・啓発を図る
	②交通安全対策の推進（自転車のマナー教育）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人たちにも正しい自転車の乗り方などマナーやルールを教えるとともに、学校周辺など、地域で危険な箇所の情報共有を進める ・白滝陸橋の北の交差点やイオン高城そばの踏切など、危険箇所の安全対策を進めてほしい
提言2	③祭りなどのイベントの開催による地域活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの減少や団塊世代の地域活動への参加者が不足していることから、若い人等の地域活動への参加を促すために、イベントを開催し地域を活性化させる ・企業、地域、学校等でNPO法人を設立
	④お年寄りによる公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への高齢者の参加が少なく、家の中ばかりにいる高齢者が多いので、公園愛護会等を通じて公園の管理や、子どもの見守りなどに取り組んでもらう
	⑤緑地帯活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東大分校区内に点在する緑地帯を活用して、花などを育てるとともにイベント等で活用することにより地域の交流を図る
	⑥オールドパワーバンク	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な技術や専門知識を持っている団塊世代等のお年寄りが多いので、そういった方がもっと活躍できる場を作る ・公民館などの場所が手狭になっているので、新たな活動の場などを検討する

提言	事業名	内容
提言 2	⑦みんな集合ふれあい屋 (3世代交流事業)	<ul style="list-style-type: none"> 核家族が増えており高齢者と接する機会が少なくなっているため、空き家などを活用して高齢者から勉強だけでなく、昔の遊びなどいろいろな経験を教える場や、料理教室など3世代が交流できる場を作る
	⑧大分東部公民館の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 大分東部公民館はグリーンカルチャーセンターを転用したという経過もあるが、地域コミュニティの拠点施設として引き続き機能の充実に努めてほしい 地域活動の発信拠点として地域コミュニティの活性化に向けて地域住民をけん引してほしい
提言 3	⑨子どもが活動する場を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 3世代交流ウォーキング大会(松栄山まで歴史探索など)などの実施や、子どもを交えて地域の名物やお菓子を作るなど、地域内で世代を越えて交流できるイベントをもっと増やす
	⑩地域の子ども部屋(放課後子ども広場)の開設	<ul style="list-style-type: none"> 地域のお年寄りが、共働き夫婦の子どもの居場所づくりをするなど、地域みんなで子育てをする意識で取組が必要 地域の子どもの学力向上も期待される 夏休みに実施したら毎日15人ほど来るので、普段も実施したい
	⑪出産、子育てがしやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 若い男女に出会いの場を提供する 出産、子育てがしやすい環境整備を図る
	⑫子どもの教育レベルの向上	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子どもたちが文教地区として仲間同士で学べ、科学や文化に触れるなど多様性を育てるための教育施設を、既存の施設の有効活用なども検討しながら整備してもらいたい(科学館など)

3 提案事業の役割分担

前段の提案事業について、それぞれ「私ができること」「地域でできること」「行政に望むこと」の視点で議論を行い、以下のとおり整理しました。

提言1		
①避難行動要支援者対策事業		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所の方と顔見知りになる ・要支援者に必要な支援方法を学ぶ ・地域の方々に対策事業の話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施 ・地域の店舗や事業者に協力を要請する ・助ける年代の人へ呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な情報提供 ・地域の現状把握 ・避難方法の支援や補助 ・広報

提言1		
②交通安全対策の推進（自転車のマナー教育）		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の呼びかけ ・自転車のマナー教育に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区の会長と危険箇所のパトロール ・危険箇所の標示 	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの強化 ・事業の広報

提言2		
③祭りなどのイベントの開催による地域活性化事業		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに家族で参加 ・イベントの広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画、立案、広報 ・地域全体でのプロジェクトチームの編成 ・世代を交えたプロジェクトチームの編成 ・人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、地域、学校等にてNPO法人を設立する際の支援、補助、広報

提言2		
④お年寄りによる公園管理事業		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
・公民館活動日以外の時間を活用し、子どもたちと遊ぶ	・地域の高齢者に周知し、応募者を募る	・事業の広報

提言2		
⑤緑地帯活用事業		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
・育苗に対する知識の指導	・地域の人に参加してもらう ・学校等への参加の呼びかけ	・肥料、養土及び用具の提供 ・緑地帯の使用許可 ・花の種類を増やす

提言2		
⑥オールドパワーバンク		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
・自分の周りの知人等、オールドパワーを有する人の情報を収集する ・広報活動により事業の主旨をPR ・先進地等の視察	・活動場所の提供(公民館や空き家など) ・運営委員会などの設置	・事業の補助、支援、広報

提言2		
⑦みんな集合ふれあい屋(3世代交流事業)		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
・イベントに参加 ・事業内容を知人にPR ・普段から地域の行事や集まりに参加する	・イベントの企画、実施、広報 ・人材の確保 ・実態調査(空き家状況の把握)	・事業の補助、支援、広報

提言2		
⑧大分東部公民館の機能強化		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの拠点がなぜ必要であるかという問題意識を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大分東部公民館を地域の拠点として活用する ・まちづくりの大きなテーマを掲げ努力している事(青少年健全育成)を周知する ・企画、指導、3世代交流等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト・ハード含めた機能面の強化

提言3		
⑨子どもが活動する場を増やす		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を利用して自分も行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体等に周知し協力を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ・法的に問題がないようにサポートをもらう

提言3		
⑩地域の子ども部屋（放課後子ども広場）の開設		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ集めや施設のPR ・イベントの企画 ・地区の子ども会と連絡をとりあう 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の見守り ・場所の提供 ・地域の先生(OB、OGなど)の協力をいただく ・子ども好きの年配の方の協力をいただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携をとってもらう ・管理、維持費の補助

提言3		
⑪出産、子育てがしやすいまちづくり		
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人達と交流を図る ・保育所、学校などの行事を情報発信し、参加を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントの場 ・プロジェクトチームの編成 ・地域全体で広報活動 ・運営委員を広く一般から募る 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助の支援 ・イベントの共催 ・若い人の意識調査

提言3

⑫子どもの教育レベルの向上

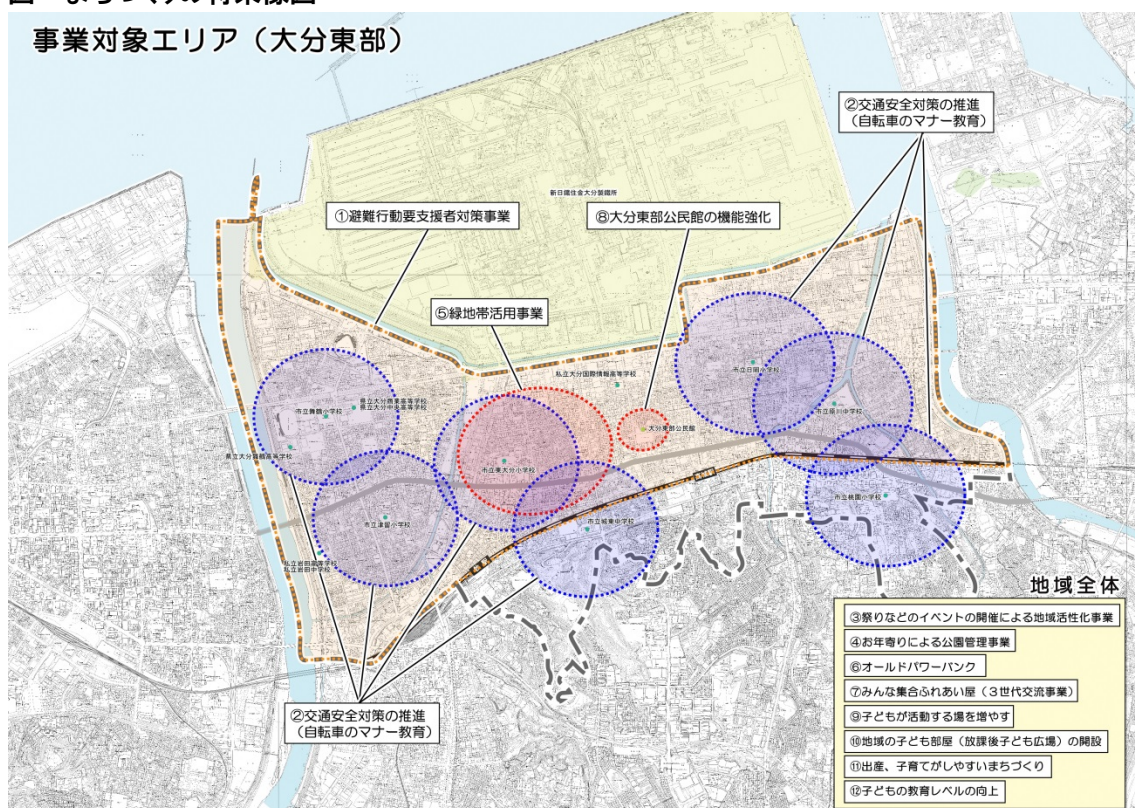
私ができること	地域でできること	行政に望むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の整備を促進する運動などに参加 ・地域の人々に呼びかけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係組織で教育施設の整備を促進する団体などを組織する 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市などの関係団体との連携により事業化の推進 ・県内の企業に協力を要請

4 提案事業の整理図(地図)

提案事業について、地図で整理すると以下のとおりになります。

図一まちづくりの将来像図

事業対象エリア（大分東部）



資料編

1. 策定経過
2. 大分東部地域ビジョン会議委員、顧問及び事務局名簿
3. 大分市地域ビジョン会議設置要綱

資料編

1 策定経過

年・月	取組内容
平成29年 5月9日	大分東部地域ビジョン会議 準備会議 大分東部地域ビジョン会議委員の委嘱
6月 6日	大分東部地域ビジョン会議 第1回会議 大分東部地域ビジョン会議顧問の参画
7月24日	大分東部地域ビジョン会議 第2回会議
10月30日	大分東部地域ビジョン会議 第3回会議
平成30年 1月30日	大分東部地域ビジョン会議 第4回会議
5月29日	大分東部地域ビジョン会議 第5回会議
7月2日	大分市地域まちづくりビジョン報告会 市長へ提言



2 大分東部地域ビジョン会議委員、顧問及び事務局名簿

大分東部地域ビジョン会議 委員18名

※敬称略

役職	氏名	所属等
会長	豊田 和成	城東・原川地区自治委員連絡協議会会長(東大分校区会長)
副会長	小野 悟	日岡校区会長
	河野 充宏	津留校区会長
	清水 栄一	桃園校区会長
	池部 和信	民生児童委員(津留校区公民館長)
	小野 行雄	東大分校区公民館長
	牧 和人	日岡中央公民館長
	池邊 章一	桃園校区公民館長
	松岡 勝代	社会福祉協議会(東大分校区)
	佐藤 英夫	老人クラブ代表(東大分校区)
	伊藤 瑤子	城東中 PTA 副会長
	尾上 和博	原川中 PTA 会長
	中村 晃	津留小 PTA 副会長
	澤田 達雄	舞鶴小 PTA 会長
	川田 由紀子	東大分小 PTA 副会長
	藤澤 隆二	日岡小愛育会会長
	江口 準一	桃園小 PTA 会長
	渡邊 聖二	新日鐵住金(株) 総務部 人事総務室

大分東部地域ビジョン会議 顧問6名

※敬称略

役職	氏名	所属等
顧問	長田 教雄	大分市議会議員
顧問	三浦 由紀	大分市議会議員
顧問	佐藤 和彦	大分市議会議員
顧問	松本 充浩	大分市議会議員
顧問	大石 祥一	大分市議会議員
顧問	齊藤 由美子	大分市議会議員

大分東部地域ビジョン会議 事務局10名

	氏 名	所 属 等
事務局 長	伊藤 英樹	企画部 次長
事務局次長	長野 薫	市民部 大分東部公民館 館長
	八坂 凌之	市民部 市民協働推進課 事務員
	宮本 弘樹 (伊東 恵介)	市民部 大分東部公民館 主査 (市民部 大分東部公民館 主査)
	曾根崎 照紀 (幸重 陽子)	商工労働観光部 商工労政課 主査 (商工労働観光部 商工労政課 参事補)
	森 亜希子	農林水産部 林業水産課 主査
	村上 明 (穂積 孝一)	土木建築部 道路維持課 参事補 (土木建築部 道路維持課 参事補)
	岩崎 進一郎	都市計画部 まちなみ企画課 専門員
	秦 英司	企画部 企画課 参事補
	中野 悠樹	企画部 企画課 主査

※()内の表記は前任者・所属を記載。また、構成員の所属は選任時のもの

3 大分市地域ビジョン会議設置要綱

(設置)

第1条 市民が思い描く地域の未来像であり、地域の特性を活かしたまちづくりの方向性についての市民の提言となる地域まちづくりビジョンを策定するため、地域ごとに地域ビジョン会議(以下「ビジョン会議」という。)を設置する。

(名称及び設置地域)

第2条 ビジョン会議の名称及び設置地域は、別表のとおりとする。

(所掌事項)

第3条 ビジョン会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)地域まちづくりビジョンの策定に関すること。
- (2)地域まちづくりビジョンの市長への報告に関すること。
- (3)その他地域まちづくりビジョンの策定に関し市長が必要と認める事項

(組織)

第4条 ビジョン会議の委員は、25人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼する。

- (1)各種団体の代表者
- (2)校区会長
- (3)学識経験を有する者
- (4)その他市長が必要と認める者

(参画依頼の期間)

第5条 参画依頼の期間は、参画依頼の日から第3条に掲げる所掌事項が終了する日までとする。

(会長及び副会長)

第6条 ビジョン会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により選出する。

2 会長は、ビジョン会議を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 ビジョン会議の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長がその議長となる。

-
- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
 - 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
 - 4 会議は、原則公開とする。ただし、会長が必要と認める場合は、会議に諮って、これを公開しないことができる。

(部会)

第8条 ビジョン会議は、地域内における特定の地区及び事項について調査、研究等を行うための部会を設置することができる。

- 2 部会は、会長の指名した委員を部会員として組織する。
- 3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員をもって充てる。

(顧問)

第9条 ビジョン会議ごとに顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、市議会議員とする。
- 3 顧問は、ビジョン会議からの要請に基づき、市長が参画を依頼する。
- 4 顧問は、ビジョン会議に対し助言を行うことができる。

(報償金等)

第10条 委員に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(事務局)

第11条 ビジョン会議の庶務を処理するため、ビジョン会議ごとに事務局を置く。

- 2 事務局の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、ビジョン会議の運営について必要な事項は、会長がビジョン会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成29年4月17日から施行する。

(この要綱の失効)

- 2 この要綱は、第3条に掲げる所掌事項が終了する日限り、その効力を失う。

別表(第2条関係)

名 称	設置地域
大分中央地域ビジョン会議	大分中央公民館の所管区域
大分西部地域ビジョン会議	大分西部公民館の所管区域
大分南部地域ビジョン会議	大分南部公民館の所管区域
南大分地域ビジョン会議	南大分公民館の所管区域
大分東部地域ビジョン会議	大分東部公民館の所管区域
鶴崎地域ビジョン会議	鶴崎支所の所管区域
大南地域ビジョン会議	大南支所の所管区域
植田地域ビジョン会議	植田支所の所管区域
大在地域ビジョン会議	大在支所の所管区域
坂ノ市地域ビジョン会議	坂ノ市支所の所管区域
佐賀関地域ビジョン会議	佐賀関支所の所管区域
野津原地域ビジョン会議	野津原支所の所管区域
明野地域ビジョン会議	明野支所の所管区域

(備考) 公民館の所管区域のうち、支所の所管区域は除くものとする。

大分東部地域まちづくりビジョン